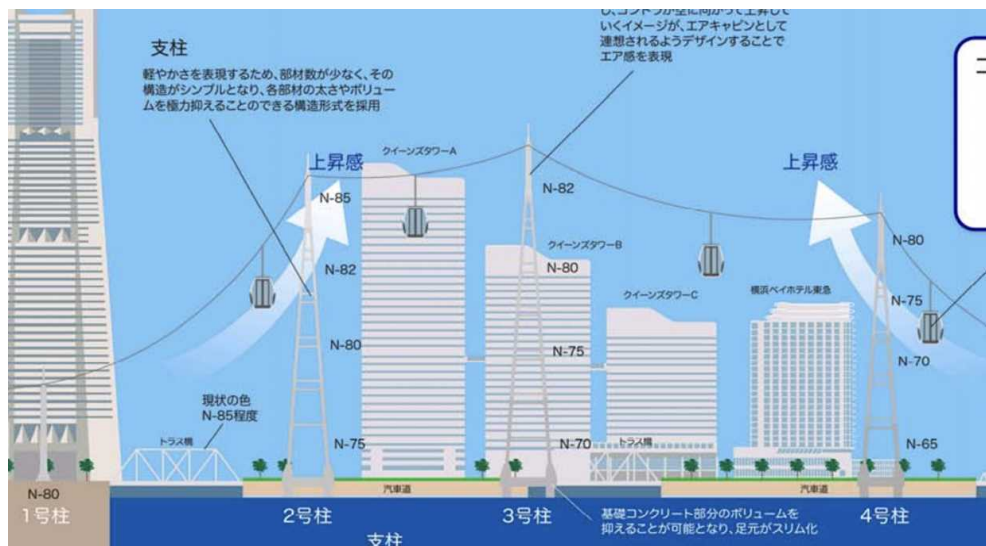
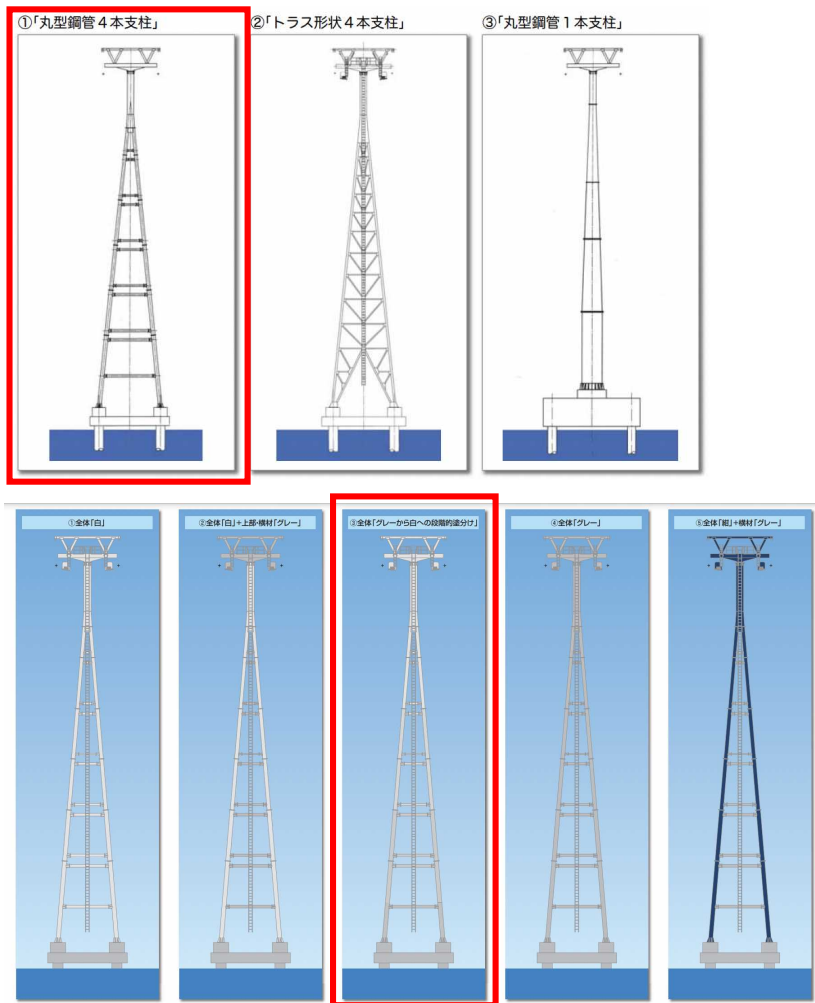


■景観に配慮した工作物の例 みなとみらい ロープウェイ(エアキャビン)支柱

【形状】 デザインの検討段階において、既存の景観形成ガイドラインを踏まえながら、3タイプの形状の支柱を比較し検討。安全性や船舶往来のための視認性に加え、最も景観を阻害しないデザインである丸型鋼管4本支柱とした。

【色彩】 色彩においても、周辺環境に馴染むグレーを基本としながら、先端に向かうにつれ、明度をあげることで景観を阻害しないようにしつつ空への上昇感を演出している。

さらに、3本ある支柱において、横方向に明るいグレーから暗いグレーのグラデーションを採用。中央地区から新港地区へとまたがる周辺環境に馴染むよう工夫されている。



■ 景観に配慮した工作物の例 みなとみらい ロープウェイ(エアキャビン)支柱

